



発行：長野県姫川砂防事務所（北安曇郡小谷村千国乙 10307-3/電話 0261-82-3100）

白馬村・小谷村では「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います。

三砂防技術研修会を開催しました



全国で都道府県の砂防事務所は4つありますが、そのうち3つが長野県にあります。その三砂防事務所です。毎年、技術力の向上を目指して研修会を行っています。今年度の第1回目は、姫川砂防事務所の開催で、小谷村横川を研修現場として、11月19日（月）に行いました。

午前中は、5月に地すべりが発生した現場を歩いて見学し、地すべりの様子を確認しました。発生当時雪解けでぬかるんだ一帯は、既に乾いて歩きやすくなっていますが、それでも1時間以上も草を掻き分けながらの山歩きとなり、当初の調査の苦勞が思い出されます。

午後は室内で、「横川地すべりの概要及び災害発生時初期対応」「地すべりの基本」について、研修を行いました。特に、地すべりの調査に関わる専門家の講義は、普段は仕事に追われていて勉強出来ない内容も多く、大変有意義なものでした。今後も職員の技術をより向上して、地域のためになる工事をしていきたいと思ひます。



地すべりで大規模に崩壊した箇所を見下ろす



道なき所を歩き、地すべりの末端見て戻るところ

小谷村文化祭 砂防展

10月27～28日に第55回小谷村文化祭が小谷村役場で開催され、当所も砂防展を出展しました。

砂防事業等を紹介するパネル展示や過去の災害記録、土石流模型展示を中心に、稗田山崩れ100年事業DVD「崩れ」を放映しました。中でも子ども達に一番人気だったのが「サボレンジャー」。

今年は事務所開設70周年を迎え関心も高まる中、予想以上の大勢の来場者があり賑わいました。



サボレンジャー



土砂災害の教訓・継承シンポジウム

11月9日（金）に、白馬村のウイング21において、姫川水系土砂災害の教訓・継承シンポジウムが開催されました。

このシンポジウムは、稗田山崩れから100年を経て、これまでの災害を風化させず、教訓として継承し、さらに地域とともに、土砂災害に備えた地域づくりを目指すため、啓発活動の一環として行われました。

当日は、笹本信大副学長と南国土交通省砂防部長の基調講演や、平松信大教授がコーディネーターとなり太田白馬村長、松本小谷村長、米田糸魚川市長、岡本全国治水砂防協会理事長、平山伊那ケーブルテレビアナウンサーをパネリストに迎えたシンポジウムが行われ、地元の方など約300人が聴講されました。

また、翌日の11月10日（土）には、白馬村松川河川敷において、姫川水系砂防直轄50年記念植樹が行われ、みどりの少年団ほか地元地区、建設業組合の方など約80人で、オオヤマザクラなど100本の植樹が行われました。



雪囲い作業

冬を迎えるにあたり雪囲い等の作業を11月22日（木）に実施しました。

庁舎の窓枠に細長い板を掛けていきました。

（写真参照）

除雪機3台の点検等も行い、今年の冬を迎えます。

小谷村は昨シーズン記録的な豪雪となりましたが、今冬は例年並みの降雪であってほしいものです。



12月・1月のイベント

白馬村 スキー場イベント

12月22日（土）～24日（月）

*クリスマスイベント（五竜・さのさか）

12月31日（月）

*カウントダウンイベント（五竜・八方・岩岳）

1月1日（火）

*ビンゴ大会（さのさか）

*元旦福々まつり（47）

小谷村 スキー場イベント

12月31日（月）

*たいまつ滑走&花火（コルチナ）

1月1日（火）

*花火（白馬乗鞍）

*もちつき・お神酒の振る舞い（コルチナ）

1月6日・20日（日）

*もちつき大会（楯池高原）

新規職員の紹介

11月からお世話になっております、登記事務嘱託員の細野希美と申します。兵庫県から来ました。よろしくお願ひ致します。

